

申込日 西暦 年 月 日

一般社団法人 社会インフラメンテナンス推進協議会（SIMC）入会申込書

貴協議会の活動の趣旨に賛同し入会したく、「一般社団法人社会インフラメンテナンス推進協議会 入会案内」に従って下記の通り申し込みたいと思います。
※黒ペンでご記入ください。

フリガナ	
法人名・団体名	
フリガナ	
代表者名もしくは責任者名 (法人・団体会員のみ記載)	
会員種別	<input type="checkbox"/> 法人会員 <input type="checkbox"/> 個人会員 <input type="checkbox"/> 賛助会員 <input type="checkbox"/> 特別会員 ※ 入会案内をご確認いただき、いずれかを選択下さい
所在地 ※ 上記と異なる場合は ご記入ください	〒 TEL
URL	
主な事業概要 (法人・団体会員のみ記載)	

フリガナ		所属	
ご担当者氏名		役職	
E-mail			
所在地 ※ 上記と異なる場合は ご記入ください	〒		
	TEL		

紹介者	
参加理由 ※ 必ずご記入ください	
委員会希望 ※ 必ずいずれかに チェック☑を入れてください	※ 委員会への参加希望があれば選択下さい。各委員会の活動内容は協議会のWebページをご参照ください。 【委員会】 <input type="checkbox"/> 人材育成委員会 <input type="checkbox"/> ロボティクス委員会 <input type="checkbox"/> メンテソリューション委員会 <input type="checkbox"/> 企画委員会 <input type="checkbox"/> 参加希望なし・入会后検討
ホームページ上での 会員名公開の同意	社会インフラメンテナンス推進協議会のWebサイト上で法人名・団体名を公開することに同意致します。 ※代表者・担当者の何れでも結構です。自筆でお願い致します。 以下の□のどちらかにチェックをいれてください。 <input type="checkbox"/> 同意する→右の署名欄に署名をお願いいたします。 署名 _____ <input type="checkbox"/> 同意しない

【お申込み・お問合せ先】 一般社団法人 社会インフラメンテナンス推進協議会（SIMC）事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-18 ビラ・モデルナ B-305

E-mail contact@simc.or.jp HP <https://simc.or.jp>

- ・この用紙をメールにて、上記事務局までお送りください。
- ・Webサイトを整備されていない方は、組織の概要(設立・資本金・従業員数・事業内容)が分かる資料を別途送付ください。
- ・理事会による審査の後、入会手続きについての連絡をさせていただきます。(2週間ほどお時間をいただきます)

一般社団法人

社会インフラメンテナンス推進協議会

設立の背景

私たちの生活を支える社会基盤は、多くが1954年から始まった日本の高度経済成長期に整備されたものであり、学校、病院、ダム、橋梁、プラントなどに使われた当時の鉄筋コンクリートの寿命は50年から60年と言われております。

つまり2021年を迎えた今、わが国では既に60年を経過した危うい社会インフラ構造物が多数存在している状況です。

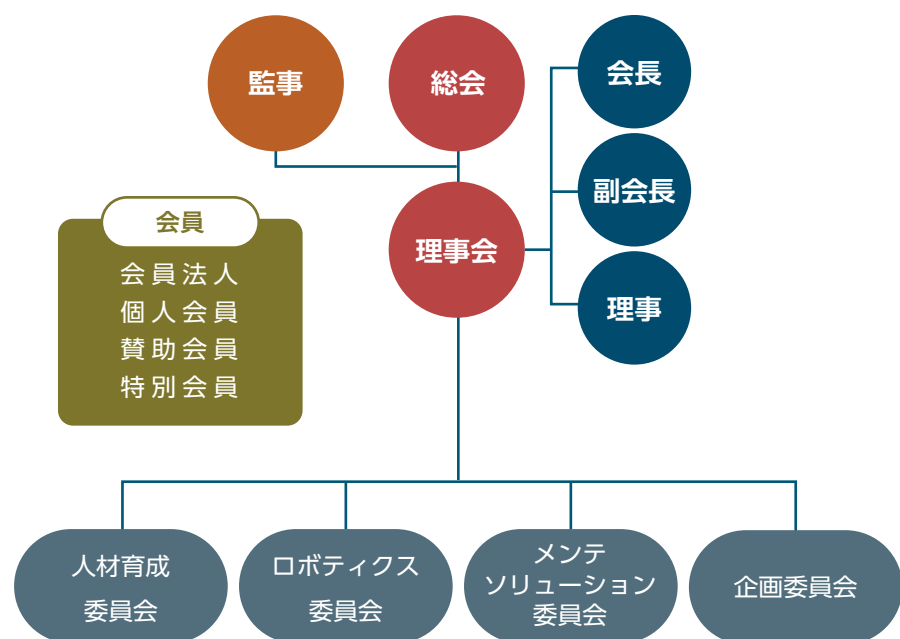
国は2012年中央自動車道で起きた笹子トンネルの天井崩落事故以降トンネル、橋梁は5年に1度の定期点検を法制化し、特定建設物においては建築基準法第12条にて10年に一度の定期点検の報告を制度化しました。

法制度を通して社会基盤保全の必要が強く求められている反面、保全に必要な予算不足や人手（熟練工）不足の現状で従来型の点検や補修方法から、より経済的に効率化を可能とする革新的技術や工法などが求められています。

以上のことから、社会インフラのメンテナンス領域においては、社会基盤を継続的に延命、持続するためのイノベーションと新たなソリューションが早急に必要となっています。

当協議会では、従来型の特定工法を共有できる工業会とは異なり、点検や保全工法を有する方々から様々な技術やノウハウ、アイデアを協議会、及び会員と共に共有できるオリジナルなソリューションとして開発してまいります。

これらを、社会インフラに対するメンテナンス領域の新しいビジネスモデルとして提供することで、日本のSDGsにおける優先課題の一つである「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」に貢献して参りたいと願うものです。



技能認定や
スクール認定など、
人材育成に資する
事業

メカニズム・解析・
DX など、
ハード・ソフトの
最新研究

各種材料や
工法などの
開発・普及活動

イベントや
展示会などの企画
他組織連携など

設立時 理事

代表理事 石田敦則
三信建材工業株式会社

理事 三浦 浩

理事 酒井学雄
株式会社スカイスコープソリューションズ

理事 大塚 毅
株式会社スカイスコープソリューションズ

理事 石田晃啓
三信建材工業株式会社

理事 樋渡貴春
DX総研株式会社

監事 内田光正
内田光正税理士事務所

人材育成委員会

社会インフラ構造物のドローン（ロボティクス）による点検技術の研究・開発・実証を通して社会実装を目指します。具体的には、国土交通省「点検支援性能カタログ(案)」掲載の「非 GPS 環境対応型ドローンを用いた近接目視点検支援技術」の普及活動としてカタログ掲載非 GPS 対応型ドローン（Visual SLAM）の操縦技術や搭載カメラによる撮影技術（ひびみっけ AI 解析画像撮及三次元成果品納入対応）及び撮影画像に解析（性能カタログレベル）などを技能認定スクールとして開校致します。また、地方行政（管理者）や学識経験者と地方に於ける点検モデルの検討を進めていきます。様々な点検に必要なロボティクス技術などを応用開発し社会実装を目指すための人材育成を行います。

- ・「非 GPS 対応型ドローンを用いた近接目視点検支援技術」の技能認定
- ・上記技術及び新たなドローン（ロボティクス）点検支援技能スクール開校支援活動
- ・AI による損傷部自動解析指導（スクール）
- ・三次元成果品納入に関する撮影及び活用などの活動



ロボティクス委員会

外壁点検ロボット（NOBORIN）を活用した建築構造物の外壁点検や当技術を土木構造物など様々な構造物に応用した点検技術の検証と社会実装を目指します。

また、建築構造物などの形状は複雑多岐にわたります。「人に代わるロボットによる点検」をキーワードとして構造物管理者である行政、民間企業そしてロボティクス技術を研究している大学との産官学との連携を通して研究、開発、実証を進めこれからの構造物点検ロボットの社会実装を目指します。

- ・「NOBORIN」昇降ロボットの実証と実務及び応用活動
- ・外幣損傷部の AI 解析の実証と活用
- ・打音検査に代わる技術の実証（空中超音波の実用化）
- ・産官学との共同研究、新技術の開発
- ・点検以外の作業ロボティクス技術の研究と開発、実用

メンテソリューション委員会

コンクリート構造物は50年が寿命と言われてます。経年によるコンクリートの乾燥収縮によるひび割れの発生から雨水や酸素、炭酸ガスなどがコンクリートの躯体に侵入していきます。強アルカリで保持されたコンクリートは徐々に中性化され、コンクリート構造物の“骨”である鉄筋まで中性化が進むとその周囲の不動態被膜のバランスが崩れ鉄筋の発錆がはじまり、発錆した鉄筋は表面積を膨張させ周囲のコンクリートを押し上げ剥落や強度の低下につながります。社会インフラ構造物は、コンクリート以外にも鉄、アルミ、ステンレス、木造、など様々な素材で構築されています。この委員会では、経年した構造物の劣化現象を少しでも抑制し、保護出来る工法の普及活動を目指します。

- ・コンクリート無機系補修材の検証と応用（表面強度 200%塗材の応用）
- ・ひび割れなど注入工法と注入材の検証と応用
- ・コンクリート無機系保護材の検証と応用
- ・鉄部無機系防錆材の検証と応用
- ・木部保護材の検証と応用



会員種別

法人会員	入会金：60,000 円	年会費：60,000 円	各委員会活動が可能
個人会員	入会金：10,000 円	年会費：6,000 円	技能認定者など
賛助会員	入会金：0 円	年会費：0 円	他団体
賛助会員	入会金：0 円	年会費：0 円	官庁、行政、大学

協議会概要

名称	一般社団法人社会インフラメンテナンス推進協議会 Social Infrastructure Maintenance Council
省略	SIMC
所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-3-18 ビラ・モデルナ B-305
URL	https://simc.or.jp
連絡先	090-4228-0233
設立	2021 年 1 月
目的	協議会は社会インフラのメンテナンス各所業務においてドローンなどロボティクス技術、最新解析技術を活用できる人材育成及び技術開発・支援・標準化の事業を行うことにより、社会インフラの維持を推進することを目的とする。
代表者	代表理事 石田敦則